

# 古謝美佐子コンサート

1954年沖縄県嘉手納町生まれ。沖縄民謡女性歌手。9才でレコードデビュー。86年より坂本龍一のユニットに参加し録音からワールドツアーまで参加する。90年より女性民謡4人グループ「ネーネーズ」にリーダーとして参加。「黄金の花」などのヒット曲を発表。1995年末に脱退後、ネーネーズのサウンドプロデューサー、佐原一哉と共にソロ活動を開始する。アルバム「天架ける橋」(2001)、「廻る命」(2008)は高く評価され、また、自作詞の子守歌「童神」(わらびがみ)は、夏川りみ、山本潤子、ヘイリー他、多くの歌手にカバーされる。ステージ活動は、ソロ公演の他、文楽人形や琉球舞踊、エイサー、フラ等多種多彩なコラボ公演から、モンゴル800のCDに参加するなど若手との交流も多い。

3歳の時に父親を米軍基地内の事故で亡くすも、現在まで嘉手納基地の近くに住み、歌を通して平和の尊さや戦争の悲惨さを訴え続ける。また「古謝の声には高周波とゆらぎ成分を同時に持ち人を癒したり健康促進の効果がある」という内容の分析結果が科学者や大学教授より発表され話題となる。

2014年からの「うないぐみ」の活動ではアルバム「うない島」と坂本龍一のコラボCD「弥勒世界報」を発表。また女優としては、2016年の短編映画「born、bone、墓音。」、2019年公開映画「洗骨」(いずれもガレッジセールのゴリ監督作品、主題歌「童神」)に出演。



と き／令和4年10月29日(土)午後2時開演(午後1時30分開場)

ところ／町民会館ホール

入場料／一般 2,500円

高校生以下 1,000円 <全指定席>

※未就学児の入場はご遠慮下さい。

※東郷町教育委員会事業のため、入場料は特別料金になっております。

入 場 券／東郷町民会館にて販売中。

・電話予約受け付け中。

・チケットぴあでも販売中。(Pコード 220-921)

出 演／古謝美佐子(歌・三線)、佐原一哉(キーボードほか)

プログラム／童神、花 ほか

# 奥山景布子講演会

「『葵の残葉』余話～歴史小説家が語る尾張徳川家と明治維新～」

小説家 名古屋大学大学院文学研究会博士課程修了。文学博士(名古屋大学)。

高校教諭、大学講師などを経たのち、「平家蟹異聞」(『源平六花撰』所収)で第87回オール讀物新人賞を受賞。

『びいどろの火』で第15回松本清張賞候補、2016年、『たらふくつてん』で第22回中山義秀文学賞候補となる。

尾張徳川家の幕末維新を描いた『葵の残葉』で第37回新田次郎文学賞、第8回本屋が選ぶ時代小説大賞を受賞。

平成29年度愛知県芸術文化選奨文化新人賞受賞。

古典文学研究者としての経験を生かした精緻な歴史小説の構築を目指す。既刊には幕末の桑名藩主・松平定敬の最後の抵抗を描いた『流転の中將』がある。

最新刊は与謝野鉄幹・晶子、山川登美子らの繰り広げた三つ巴の恋愛模様を描いた『やわ肌くらべ。』

【講師からのメッセージ】

本講演会では「葵の残葉」「流転の中將」の執筆を通して感じたことをお話しいたします。幕末の尾張藩における最大の悲劇、青松葉事件では、東郷町にもゆかりのある尾張藩士・渡辺新左衛門在綱も非業の死を遂げています。深い哀悼の意を捧げつつ、会場にお伺いいたします。



と き／令和4年10月16日(日)午後2時開演(午後1時30分開場)

ところ／いこまい館多目的室A

入場料／一般 1,000円

高校生以下 500円 <全指定席>

※未就学児の入場はご遠慮下さい。

入場券／町民会館窓口にて販売中。

電話予約受け付け中。

チケットぴあでも販売中。(Pコード 648-353)

出 演／奥山景布子

## 新型コロナウイルス感染症対策

本冊子に掲載のイベント等について、新型コロナウイルス感染症の影響で内容変更や中止になることがあります。詳しくは、問い合わせにご確認ください。

